

総合

勉強の場伊豆で提供

被災地の
子供招待
学生や現役教諭指導

GW三島



先生役ボランティアから指導を受ける被災地の子ども—伊豆市の日本サイクルスポーツセンター

東日本大震災で被災した子どもを県内に招き、先生役のボランティアが学習支援する勉強会「大

学生出前寺子屋合宿」NPO法人グラウンドワー

ク(GW三島主催)が6日、伊豆市の日本サイクルスポーツセンターで行われた。

GW三島が4～5月に伊豆長岡温泉に招待してつなぐのできた宮城県石巻市と福島県いわき市から小中学生57人とその保護者ら25人が参加した。約半数の子どもは避難所生活で、集中して勉強する場所の確保が難しかったため、「勉強する場がほしい」という要望に応える形で企画した。

先生役として県内や首

都圏などから大学生や小中学校の現役教諭ら38人がボランティアで協力し、グループ別に指導した。子どもたちは夏休みの課題などに真剣に取り組み、石巻市立門脇中1年の桑名志織さんは「分

かりやすく教えてもらって集中できた。課題がはかどった」と喜んだ。勉強会終了後は、ゲーム業界の被災者支援事業「ゲームキャラバン隊」として県アミューズメント協会が用意したゲーム機で遊んだり、同センターのプールで泳いだりし

た。田方管工事業会による支援金30万円の贈呈式も行われた。被災地からの参加者は伊豆高原(伊東市)のペンションに宿泊して8日まで県内に滞在。7日には富士山の5～6合目付近の樹林帯を散策する。